

2016-17 年度 地区運営方針

RI 会長強調事項

- 会長賞を地区内クラブの 51% が受賞する
 - ・ そのためにはロータリークラブ・セントラルで最低 10 の目標を設定
 - ・ 人頭分担金を期限までに支払う
- 地区 DDF の 20% 以上をポリオプラスに寄贈する
 - ・ ポリオ撲滅を達成するための寄付
 - ・ ポリオ撲滅を公共イメージの向上につなげる
- 年次基金への寄付を前年度よりも 5% 増加させる
- 地区全体の会員数を前年度より 5% 増加させる
 - ・ クラブが柔軟性のある文化を育む
 - ・ 会員の多様性（女性会員、若い世代）
- ロータリー財団 100 周年の目標を達成する
 - ・ ロータリー財団に対する人々の認識を高める
 - ・ ロータリー財団プログラムと関連する大きな達成を表彰する（寄付者など）
 - ・ 100 周年の祝賀を目的とした特別な催しを地区で行う
 - ・ 100 周年を機会に寄付を増加させる
- 非常事態に備えたガイドラインの整備
- 他の団体とのパートナーシップの強化（戦略・リソース・奉仕・プロジェクト）
 - ・ 価値観の共有とガイドラインの順守
 - ・ ポリオ撲滅後のパートナーシップ
- 公共イメージと認知度の向上

RI 会長賞

基本的に RI 会長賞を全てのクラブが達成してほしい。（目標は 50% 以上）

会長賞の要件：

- ①. クラブの活動を正確に把握するために丸一年 2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日の活動が対象
- ②. ロータリーセントラルにデータを入れてください。そうでなければ無効。
- ③. 必須条件 セントラルに目標を設定 10 個以上、人頭分担金を支払う
- ④. 目標の項目
 1. 会員増強と維持
 2. 財団への寄付
 3. オンラインツールの利用
 4. 人道的奉仕
 5. 新世代
 6. 公共イメージ

地区運営方針

1. 地区重点目標

- **会長賞への挑戦**
 - ・ 全クラブが R I 会長賞を目指す

- **奉仕理念の再確認** —— **ロータリーは人作り**
 - ・ 中核的価値観の推進（四つのテスト、行動規範など）
 - ・ RLI の推進（ロータリアンの自己研鑽の場）
 - ・ ロータリーモメントの体験（奉仕活動への積極的参加）
 - ・ 財団奨学生の推進（平和フェロー、GG 奨学生、DG 奨学生など）
 - ・ 青少年プログラムの推進（青少年交換、RYLA、IA、RA など）
 - ・ 学友会の発足と組織発展
 - ・ ロータリー研修冊子の発行

- **クラブ戦略計画（長期計画）の推進**
 - ・ クラブ戦略計画（長期計画）の実現に向けて支援する

- **会員維持と新会員獲得の推進** —— **新しい仲間を増やそう**
 - ・ 50 名以下のクラブ純増 1 名
 - ・ 50 名以上のクラブ純増 2 名をめざす
 - ・ 若い会員や女性会員の入会を目指す
 - ・ 新しいタイプの新クラブの創設（学友会、衛星クラブなど）
 - ・ ロータリアン同士の親善友好を深め、会員維持及び新会員獲得を推進

- **ロータリー財団への支援とプログラムへの参加**
 - **ロータリー財団 100 周年を祝って** —
 - ・ ロータリー財団に対する人々の認識を高める
 - ・ ロータリー財団プログラムと関連する大きな達成を表彰する
 - ・ 100 周年の祝賀を目的とした特別な催しを地区大会で行う
 - ・ 100 周年を機会に寄付を増加させる
（年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金、平和センター、大口寄付）

- **ポリオ撲滅の推進**
 - ・ ポリオプラスに対する資金的協力
 - ・ 地区 DDF の 20%以上をポリオプラスに寄贈する
 - ・ ポリオ撲滅に対する WHO との共同プロジェクトの推進（ラオスマッション）

- **人道的奉仕活動の重点化と増加**
 - ・ 財団補助金の活用などによる人道的奉仕活動の推進

- **公共イメージの向上**
 - ・ 地区ホームページの刷新による公共イメージの向上
 - ・ 公共イメージを高めるためのネット広告の実施
 - ・ ソーシャルネットワーク（SNS）などを利用した効果的な広報の促進
 - ・ 双方向のコミュニケーション手段による広報の促進
 - ・ ロータリー財団 100 周年を公共イメージの向上につなげる

- 効果的な地区運営と危機管理

- ・ 効率的効果的な公式訪問の実施
- ・ 非常事態に備えたガイドラインの整備
- ・ 地区内規や地区運営マニュアルの策定により合理的な地区運営を行う

2. 寄付目標

- ロータリー財団

- ・ 年次寄付 1 会員 180 ドル以上
- ・ ポリオプラスへの寄付 1 会員 2,000 円以上
- ・ 恒久基金寄付 25 名に 1 名のベネファクター寄付
- ・ ポール・ハリス・ソサイエティー 地区で 3 名以上

ロータリー財団の寄付目標は従前と同じ目標を設定しておりますが、ロータリー財団 100 周年を記念して、無理のない範囲で出来る限りのご支援をお願い致します。

- ロータリー米山記念奨学会への寄付

- ・ 1 会員 24,000 円以上

- ポリオミッションへの寄付 (ラオスミッション)

- ・ 1 会員 1,000 円以上

- ロータリー希望の風奨学金への寄付

- ・ 1 会員 5,000 円以上

3. 新設地区委員会について

ロータリー学友会の創設とその発展のためそして、国際大会会推進およびロータリアン同士の友好親善を図るために 2 つの新設地区委員会を設置し、さらに地区内クラブの活性化を図る。

- (1) 地区学友委員会

- (2) フェロシップ委員会

1. 地区学友委員会

「学友」はロータリーファミリーの重要な一員であり、常にロータリーと同じ価値観を有し、共に奉仕活動をしている。学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をすることはロータリーの発展には欠かすことはできない。地区に学友会を結成すると共にまた、将来のロータリアンとして活躍出来る機会を提供するための委員会である。

2. フェロシップ委員会

国際ロータリーは推奨地区委員会として、国際大会推進委員会、ロータリー親睦活動委員会、ロータリー友情交換委員会の設置を奨励している。

本委員会は、これらの 3 つの推奨委員会の機能を有すると共に地区内の会員間の親睦

や地区外の友好親善を図るために新たに設置するものである。
大変広範囲な分野ではあるが、広い意味で会員のフェローシップを深めることは、ロータリーの発展や活性化に繋がるものである。

4. ガバナー月信について

ガバナー・マンスリー・コミュニケーションとしての位置づけ。
地区ホームページやSNSなども連動し、月信との相乗効果を図るとともに、迅速な双方向の情報伝達を目指す。多様な情報伝達手段を用いて、地区内でのコミュニケーションを向上させると同時に、ロータリーフィロソフィーを発信する。

5. 地区ホームページについて

地区ホームページを刷新すると共に、次年度その管理運営を地区広報員会が行う。
地区ホームページの方針として、まず一般市民に対するロータリーの認識を向上することと同時に、会員に対するサービスの充実、タイムリーな最新情報提供を実施し、また各クラブ様からの活動状況の共有も図りたい。
最終目標として、ジャーム会長エレクトの要請、すなわち、「ロータリーとは何ですか」という質問を誰からも聞かれなくなることの実現を目指して、ロータリーの認知度向上に努めたい。

ガバナー賞表彰基準

1. 会員維持と新会員獲得優秀クラブ
2. ロータリー財団への支援およびプログラムへの参加優秀クラブ
3. ポリオ撲滅の推進優秀クラブ
4. 人道的奉仕活動実践優秀クラブ
5. 公共イメージの向上実践優秀クラブ
6. 米山奨学会への支援優秀クラブ

- 各項目に5クラブ程度
- 重複受賞も可能
- 締め切りは 6月30日

月信総集編の誌上において表彰致します。

補遺

1. ロータリーの最優先事項 Rotary's highest priority

2015年10月理事会決定

RI 理事会は、ポリオ撲滅が今後もロータリーの対外的な最優先事項である一方、内部においては、会員増強が最重要事項であることを確認しました。

1. ロータリーの対外的優先事項としてポリオ撲滅
2. ロータリーの内部における最重点項目として会員増強

2. ロータリー財団の取り組むべき4つの優先項目 four priorities (3年間)

(2015年7月～2018年6月30日)

2014年10月管理委員会決定

管理委員会は、2015年7月1日から3年間で取り組むべき優先項目として、以下の4つを採択しました。

優先項目：

1. 永久にポリオを撲滅する。
2. ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
4. ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

【参考資料】

ロータリー財団の優先項目と具体的目標
(管理委員会決定第9号)

TRF PRIORITIES AND MEASURABLE GOALS (Decision 9)

「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という3つの項目を柱としたロータリー戦略計画を支えるため、2015年7月1日に始まる3年間のロータリー財団の優先項目が提案されました。各優先項目には具体的目標が定められており、これらの目標は、今後の進捗状況に応じて変更が加えられることがあります。

優先項目1：永久にポリオを撲滅する

具体的目標

- A. 野生ポリオウイルスによる新たな発症例をなくす。
- B. 毎年3,500万ドルのポリオ撲滅への寄付を確保し、ゲイツ財団のチャレンジに応える。
- C. ポリオ撲滅におけるロータリーの役割について周知を図る。
- D. ほかに人道的プログラムにも同じようなアドボカシーを取り入れることを視野に、ポ

リオ撲滅におけるロータリーによるアドボカシーを見直す。

優先項目2：ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。

具体的目標

- A. 財団プログラムについてより良く学ぶために、新しく効果的なタイプのコミュニケーション方法を例会で活用することをクラブに奨励する。
- B. グローバル補助金に全地区が関与し、全クラブの少なくとも25%が関与する。
- C. 「Every Rotarian, Every Year」の寄付レベルに到達するクラブの数を、全地区で少なくとも15%増やす。
- D. 年次基金への寄付を、全地区で少なくとも3%増やす。

優先項目3：財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。

具体的目標

- A. グローバル補助金への支出総額を、全世界で少なくとも10%増やす。
- B. グローバル補助金による奨学金の数を全地区で少なくとも1口増やし、全世界で少なくとも15%増やす。
- C. 職業研修チーム（VTT）の数を、全世界で少なくとも100チーム増やす。
- D. 持続可能性、簡潔さ、効果の点でグローバル補助金の成果を測定し、評価する。

優先項目4：ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

具体的目標

- A. 2016-17年度の財団100周年の祝賀を計画し、実施する。
- B. ロータリアンとそのほかの支援見込者（政府関係者、非政府団体、慈善財団など）を対象とした国際会議を企画することによって、平和に対するロータリーの取り組みを促進する。
- C. クラブと地区における会員増強の必要性および奉仕に対する良い影響について認識を高め、周知を図るための新しい財団イニシアチブを、少なくとも2つ立案する。
- D. ロータリアン以外の一般の人びとによるロータリーへの認識を高め、その結果として財団への寄付やロータリープロジェクトへの参加を増やす。

3. ロータリー財団100周年の目標 TRF Centennial Goals

2014年10月管理委員会決定

管理委員会は、ロータリー財団100周年に合わせて、以下4つの100周年目標を承認しました。

1. ロータリー財団に対する人びとの認識を高める。
2. ロータリー財団プログラムと関連する大きな達成を確認し、表彰する。
3. 2016年と2017年のRI国際大会、また、2016-17年度のゾーン、地区、多地区による全会合において、祝賀を目的とした特別な催しを行う。
4. 2016-17年度に、年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金、ロータリー平和センター大口寄付推進計画に対する寄付において過去最高額を達成する。

また、管理委員会は、財団の100周年ロゴを新たに承認しました。

寄付推進

管理委員会は、最高 100 名のロータリー平和フェローを支援するための寄付または誓約に関して、2017年6月30日までに1億5,000万ドルを集める寄付目標を設定しました。

4. RI 戦略的優先項目と目標 **Strategic Priorities and Goals**

2014年10月理事会決定 決定38号

この戦略計画は、アンケート調査、フォーカスグループ（座談会調査）、委員会、会合を通じて集められた会員の意見を基に形づくられました。ロータリーがこれからも目標に向けて前進しつづけていくために、戦略計画は、ロータリアンの願いや希望を取り入れながら進化していくものです。

優先項目 —— クラブのサポートと強化

目標

- ・ クラブの刷新制と柔軟性を育てる
- ・ さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- ・ 会員基盤の多様性を奨励する
- ・ 会員の勧誘と維持を改善する
- ・ リーダーを育成する
- ・ ダイナミックな新クラブを結成する
- ・ クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

優先項目 —— 人道的奉仕の重点化と増加

目標

- ・ ポリオを撲滅する
- ・ 持続可能性を高める
 - ▶ プログラムや活動において青少年や若きリーダーの支援
 - ▶ ロータリー財団の6つの重点分野
- ・ 他団体との協力やつながりを深める
- ・ 地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを生み出す

優先項目 —— 公共イメージと認知度の向上

目標

- ・ イメージとブランド認知を調和させる
- ・ 行動を主体とした奉仕を推進する
- ・ 中核的価値観を推進する
- ・ 職業奉仕を強調する
- ・ ネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励する

優先項目 —— 財政的持続性と運用有効性の向上 **(新たに追加された)**

目標

- ・ 財源の多様性を維持する（たとえば、資金提供者など）
- ・ 景気低下において、プログラムや運営を維持するために、RI と TRF は財政的な柔軟性を確保する
- ・ 理事会や財団管理委員会によって承認された運営準備金の3年目標が達成される事を確実にする。
- ・ 戦略的成果を達成し、運営の効率性を最大化するためにボランティアや職員や財源を活用する。